

リベリア ニンバ山脈地帯森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2015年8月
コンサベーション・インターナショナル

自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意（FPIC）

生物多様性の保全の成功は、取組みがコミュニティの生活を改善するか否かにかかっています。そのためには、まず、コミュニティが何を必要とし、何を優先しているのか理解する必要があります。この数ヶ月、私たちは東ニンバ山自然保護区の周辺に暮らすヨロウィー・コミュニティとゴナコリ・コミュニティとの会合を重ねてきました。



コミュニティとのミーティング

©Conservation International/photo by Liam Walsh

自然への負荷を下げることは、コミュニティが自然からの恵みを末永く使っていくために必要不可欠です。同時に、コミュニティの暮らしを何らかの形で変えることを意味します。「自由意思による（=Free）、事前の（=Prior）、十分な情報に基づく（=Informed）同意（=Consent）」（略して、FPIC）は、あるプロジェクトがコミュニティに影響すると想定される場合に彼らの権利を守るために導入されたプロセスで、大変重要です。

ニンバのコミュニティとの保全契約を進めるため、今期、このFPICのプロセスにも力を注ぎました。ヨロウィー・コミュニティとゴナコリ・コミュニティはとも協力的で、私たちと共に保全を実現することに強い関心を持っています。

東ニンバ山自然保護区の周りでの環境教育と普及啓発

小学校の環境クラブ

子供たちにも生物多様性の保全に参加してもらうため、東ニンバ自然保護区の周りにある10の小学校に環境クラブを作りました。森林伐採、気候変動、絶滅危惧種といった内容について学ぶためのプログラムを開発し、環境クラブを開始したところ、子供たちに大人気！この成功を足がかりに、環境クラブの数を増やしていく計画です。ニンバ郡の全ての小学校への導入も夢ではないかもしれません！

保全のメッセージを届ける劇団

リベリアでは、重要なメッセージを届けるために、しばしば演劇が大切な役割を果たします。私たちも、地元の劇団と協力し、歌、踊り、物語を組み合わせ、農業や漁業、狩猟、砂鉱床採掘などの環境への影響についての劇のシリーズを作りました。今期、劇団は、いくつもの村をめぐり、パフォーマンスを演じました。毎回、多くの村人たちの関心を集め、大成功でした。



劇団によるパフォーマンス

©Conservation International/photo by Liam Walsh

ニンバ郡コミュニティカレッジとの協力で保全フォーラム開催

森林や自然資源管理、生物多様性保全の分野では、必要な人材がとても不足しています。私たちは、ニンバ郡コミュニティカレッジに協力し、森林や自然資源管理といった環境分野を学ぶ学生を支援しています。支援の一つである保全フォーラムは、学生たちに環境分野の専門家と交流する場を提供し、次の世代の専門家を育てることを目的としています。私たちは、今期、数回にわたって環境フォーラムを開催しました。



東ニンバ自然保護区の周りの村の様子

©Conservation International/photo by Liam Walsh

また、学生たちには、CI でのインターンシップの機会も提供されており、今は、2人のインターンがCIで環境の仕事の経験を積んでいます。今後、もっと沢山のインターンに機会が提供出来るようになることを願っています。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。